

たちまち近松人形劇団 [福井県推薦] (福井県鯖江市)

https://www.city.sabae.fukui.jp/kosodate_kyoiku/shogaigakushu/tachimachikominkan/chikamatsu.html

代表者名：坂井 嘉夫 団体構成員数：30名

平成14年、江戸時代の浄瑠璃・歌舞伎脚本作家である“近松門左衛門”が鯖江市立待地区で生まれ育ったことにちなんで、立待地区の住民らにより、小学生を劇団員とする子供人形劇団である「たちまち近松人形劇団」が立ち上げられました。

立待地区の小学生が劇団員として人形劇公演を行い、高齢者を中心とする地域の大人達が子供たちへの指導や助言、人形や大道具の制作など、様々な支援をボランティアで行っており、各支援の過程を通して、地域の子供たちと高齢者を中心とする大人達との交流の場が定期的に生まれ、異世代間交流の貴重な機会となっています。

福井県内初となる子供人形劇団として、第20回国民文化祭(平成17年)で活動発表したほか、地元のイベントや学校での公演を続け、毎年秋に開催される「たちまち近松まつり」での発表を目標に、毎週1回の定期的な練習を行い、公演前には休日も強化練習を行うなど、熱心な活動を年間約50日行っています。

近年は、地元保育所(4か所)での公演も行い、保育園児の夢や希望を育む役割も果たしています。地元での公演は、郷土の偉人“近松門左衛門”を身近に感じさせる機会となっているばかりでなく、人形劇への助言や指導、各支援の過程を通して、劇団員となる子供たちへの指導・助言・支援の過程で子供たちと高齢者を中心とする大人たちとの交流の場が定期的に生まれ、異世代間の交流促進、地域の横のつながりを深める役割も果たしています。



公演に向けて打ち合わせの様子



人形や小道具の制作



人形劇公演の様子



地元小学校での公演の様子

■選考委員のコメント

たちまち近松人形劇団の人形劇を活用した青少年の育成活動は、地域活動にも多様に取り組みられています。さらに、参加者の中から次世代のリーダーを発掘しており、この点も評価できます。

[受賞者からの一言]

このような名誉ある表彰を頂き、大変嬉しく思います。受賞した後は、立待小学校始業式の時に、スタッフ一同が団員の子供たちと共に、全校生徒に表彰を受けたことを報告しました。

5年生の石山さんは、「みんなが笑顔に

なる、この楽しい劇団の活動が表彰を受けてうれしい。」と笑顔を見せていました。今後も支援者、ボランティア、協力者が一丸となり子供たちの活力をバックアップしていきたいと思っています。ありがとうございました。



表彰状の授与